

續ケテ來ラレタト思ウ 諸君ハ此重大ナル時期ニ來ルベキ一ヶ年ノ運動方針ヲ確立スル爲メニハ申ス迄モナク普通ノ御座成リの大會デアツテハナラヌ、最近日本ノ労働運動ヲ通ジテ喜ビトスル處ハ長イ間ノ經驗ト資本主義ノ最後ノ段階ニ於テ日本ノ實情ヲ直視シテ労働及政治運動ガ軌道ノ上ニ乗ツテ來タコトデアアル、從來ノ労働、政治運動ガ漸次國情ニ即シ一君万民ノ言葉ヲ用ユルガ如ク變遷シ所謂國家主義ノ上ニ立ツタ労働運動ガ擡頭シテ來タ其原因ハ資本主義ノ行詰リデアアル ソレヲ打開セントシテ各團體ガ經濟闘争ニ於テ對立シ政治方面迄反映シテ來タ 如斯日本ノ労働運動ガソノ線ニ沿ウテ如何ニ進ムベキカヲ考慮セネバナラナイ 各人ハ資本主義ガ崩壞セントシテ居ルト言ウガ我々ニハソレニ對抗スベキ充分ナ組織、實力ヲ持タナイ此點甚ダ遺憾ニ思ウ次第デアルガ私ノ考ヘル處ニヨレバ從來ノ經濟的闘争ニ餘リニ政治的意見ガ持込マレテ居タト思ウ又共產主義ハ若キモノヲ提テハ學生ヲ

シテ理論的ニ呼ビ寄セコレヲ直チニ實運動ニ持込ンダカラデアアル コレガ我國ノ労働運動ヲシテ分裂ニ導イタ原因デアアル 然シ今日デハ大体解消サレ從來ノ運動デハ不可デアアルコトヲ自覺シテ來タ更ニ労働組合ハ排他的デアツタ爲メニ分裂ヲ重ネ而シテ如斯コトガ労働組合ノ信任ヲ失墜シタノデアアル、ソコデ我々ハ萬難ヲ排シテ信用ヲ回復シ以テ労働組合戰線ノ統一ヲ計リコレニ向ツテ我々ハ努力スベキデアルト考ヘル、過去ノ労働組合ハ互ニ反目シ實力以上ノ闘争ヲセントシテ無理ヲシテ居タ 闘争スルコトヲ組合ノ任務ナリトスル運動ハ反省セネバナラナイ 我々ハ飽迄モ健全ナル眞ニ我國情ニ即シタ労働組合主義ノ確立ニ邁進シ而シテ眞ニ組合ノ本質ヲ發揮スベキデアアル

次イデ議長ハ左記ノ通り書記ヲ任命ス

書記長

松浦滿壽夫

書記

南一夫